

有識者プロフィール

永瀬 伸子（ながせ のぶこ）

現 職： お茶の水女子大学基幹研究院教授

専 門： 労働経済学、社会保障論



略歴

1982年 上智大学外国語学部英語学科卒業

1989年 東京大学経済学部卒業

1995年 東京大学大学院経済学研究科修了、博士（経済学）

1995年 東洋大学経済学部専任講師を経て助教授

1998年 お茶の水女子大学生活科学部助教授

2006年 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科教授

（その後大学大学院人間文化創成科学研究科、基幹研究院と名称変更）（～現在）

2011年 お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科 ジェンダー学際研究専攻長

2013年 ハーバード大学客員研究員、コーネル大学客員研究員（～2014年）

2015年 お茶の水女子大学学長補佐（～2021年）

主な審議会等委員等

男女共同参画会議影響調査専門委員（内閣府）（2001年～2004年）

政府税制調査会特別委員（内閣府）（2005年～2007年）

社会保障審議会統計部会臨時委員（厚生労働省）（2007年～2017年）

統計委員会委員（総務省）（2015年～2019年）

社会保障審議会年金数理部会臨時委員（厚生労働省）（2018年～2022年）

中央社会保険医療協議会公益委員（厚生労働省）（2020年～）

人生100年時代の結婚と家族に関する研究会委員（内閣府）（2022年）

近年の著書

- ・『少子化と女性のライフコース』人口学ライブラリー19（寺村絵里子共編著）原書房（2021年）
- ・『労働経済学をつかむ』（大森義明共著）有斐閣（2021年）
- ・『少子化とエコノミー：パネル調査で描く東アジア』（篠塚英子共編著）作品社（2008年）